

# 公共交通の確保・充実 ①

予算額 1,105,348千円

- 交通不便地域等における高齢者や若者等の移動手段の確保が喫緊の課題であることから、地域のニーズをきめ細かく把握するとともに、市町等における移動サービスの導入・定着などの取組を支援します
- 交通事業者における深刻な運転士不足をふまえ、事業者や市町と連携して運転士確保の取組を支援します

## 地域内交通

### (一部新) 地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業 (129,900千円)

#### 高齢者等の移動ニーズ把握 (9,730千円)

##### 新 地域座談会の開催

- ・ 高齢者等の意見交換を通して地域の実情やニーズをきめ細かく把握
- ・ 市町と連携し、地域の寄り合いの場などを利用して座談会を開催



##### 新 地域の輸送サービスの分析・検討

- ・ 各地域の輸送サービスの現状・課題を把握、対応策を検討 (国・県・市町の課長検討会)
- ・ 県内29市町との交通施策検討会を実施 (自家用有償旅客運送制度など)

#### 移動手段の導入 (100,000千円)

##### ○ 移動手段の確保・乗継環境整備への支援

- ・ 市町等の取組を、調査から実証事業、定着まで切れ目なく支援 (1~3か年程度)

1年目: 調査+実証事業



2年目: 検証+本格運行



3年目: 検証+定着



新 交通結節点での待合所など乗継環境整備を支援

新 地域の特性などの状況に応じて、交通ネットワークの構築に取り組む市町を重点支援

#### 運転士不足への対応 (19,000千円)

##### 新 運転士確保の取組

- ・ 深刻な運転士不足をふまえ、交通事業者と連携して運転士募集フェアなど人材確保の取組を支援
- ・ 一般ドライバーを活用した輸送サービスの導入の検討、ドライバーの養成などを支援
- ・ 各市町が取り組む自動運転の導入への支援



# 公共交通の確保・充実 ②

予算額 1,105,348千円

交通政策課 224-2622  
広域交通・リニア 224-2805  
推進課

- 通勤や通学など日常生活の移動手段である鉄道やバス路線の維持・活性化のため、市町等と連携して利用促進などに取り組むとともに、国や市町と協調して支援します
- リニア中央新幹線の2037年全線開業の実現に向けて関係者と連携して取り組むとともに、行動計画となる「みえリニア戦略プラン（仮称）」の策定に着手します

## 広域交通ネットワーク

### （一部新）鉄道活性化促進事業（22,940千円）

- 鉄道の維持・活性化のため、沿線自治体で構成する協議会において連携して要望活動や利用促進の取組を実施
- 新 J R 関西本線（亀山～加茂間）の維持・活性化のため、「関西本線活性化利用促進三重県会議」において、大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行や沿線市が取り組む駅からの二次交通の充実に向けた実証事業の支援など、利用促進や利便性の向上に向けた取組を実施

### 鉄道利便性・安全性確保等対策事業（151,257千円）

- 鉄道事業者が実施する安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国や沿線市町と協調して支援

### 伊勢鉄道基盤強化等対策事業（191,018千円）

- 伊勢鉄道（株）が実施する安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国の補助金も活用して支援

### 地方バス路線維持確保事業（345,000千円）

- 地域間幹線系統バスの運行経費等に国と協調して補助を実施
- 県および市町の地域公共交通会議等において地域公共交通の活性化に向けた取組を実施



### （一部新）リニア中央新幹線関係費（27,841千円）

- 新「みえリニア戦略プラン（仮称）」の策定及び必要な調査を実施
- 名古屋・大阪間の環境アセスの着実な推進と一日も早い全線開業実現に向けた活動を実施
- リニアを中心とした新たな広域交通ネットワーク構築に向けた機運醸成の取組を実施



時速500kmのスピードでつながる  
日本の新たな大動脈



令和5年度リニア建設促進  
三重県期成同盟会総会